

4期目を務める並木昭義事業管理者の後任として、4月から新たなスタートを切る。「大きな功績を引き継ぐため、身が引き締まる思い」。



2016年に消化器内科医として赴任して以来、18年に副院長、21年に院長就任と、キャリアを積み重ねてきた。新体制の手始めとし

小樽市立病院事業管理者に就く

有村 佳昭氏



て、事業管理者と院長のトップ2人体制だったのを、新たに病院副局長のポストを新設し、3人体

制とする。

病院版「桃李もの言わざれども、下見すから蹊を成す」が目標。並木病院局長が種を植え、立派な若木に成長した病院を引き継ぎ、後進がきれい

TOP 3人の新体制でスタート

な花を咲かせ、たわわな果実（成果）を実らせる。そうなると思すと人（職員）が集い、活気に満ちた病院になる。

院長就任以来取り組んできた、総合診療科の創設と当直体制の刷新にも、引き続き力を注ぐ。超高齢化が進む小樽後志地域の医療需要を見据え、市立病院のミッションとして「市民が求める医療を断らない」を実現する一環でもある。

札幌大1988年卒。ドクターオブドクターズネットワークの優秀専門臨床医に2度選出。